

Rails 5.2のCredentials の実装について ...

大倉雅史

Shinjuku.rb #60 Rails 5.2

self.pp

- Cycleというベンチャーで農業の生産管理アプリのサーバーサイドをRailsで書いています(正式リリースは6月)。
- Rails 5.2.0.rc2で開発を進め、今正式版に変更するPRを出しているところ。
- Vimmer

お品書き

- Credentialsとは
- 内部実装と想定されるその活用法
- 小ネタ

Credentialsとは

(身分資格成績などの)証明書, 信任状.

By Macの辞書アプリ

10.1 Custom credentials

Rails generates a `config/credentials.yml.enc` to store third-party credentials within the repo. This is only viable because Rails encrypts the file with a master key that's generated into a version control ignored `config/master.key` — Rails will also look for that key in `ENV["RAILS_MASTER_KEY"]`. Rails also requires the key to boot in production, so the credentials can be read.

To edit stored credentials use `bin/rails credentials:edit`.

By default, this file contains the application's `secret_key_base`, but it could also be used to store other credentials such as access keys for external APIs.

The credentials added to this file are accessible via `Rails.application.credentials`. For example, with the following decrypted `config/credentials.yml.enc`:



```
secret_key_base: 3b7cd727ee24e8444053437c36cc66c3
some_api_key: SOMEKEY
```

Credentialsとは

- 外部APIのキーなどを一括で管理する方法
- Rails 5.1で導入されたEncrypted Secretsの置き換え
- コマンドラインで生成・編集が可能
- **Production 環境のみ**
- `Rails.application.credentials`でアクセス

内部実装とその想定される活用法

ActiveSupport::EncryptedFile

- DHHによって実装された新基盤 (#30067)
- 暗号化されたファイルの復号化を汎用的に扱える
- `Rails.application.credentials`は実は単なるラッパー
- `Rails.application.encrypted`でアクセス

Encrypted Commands

- EncryptedFileをコマンドラインから扱うための機能 (#30940)
- 公式のリリースノートからリンクされているがあまり有名ではない模様
- 鍵とファイルを指定すると、存在しなければ作成してくれる

活用法

- イニシャライザで現環境に合わせたCredentialっぽいファイルを読み込めば、ファイル内部で環境ごとに書き分けなくて良い
- developmentでは素のYAMLを読み込むこともできる(鍵配布コストの低減)
- JSONファイルの暗号化も扱える。

その一例（動作未確認注意！）

小ネタ

- これら暗号化関係のクラスは、鍵を環境変数から先に読み、なければファイルから読む
- 故に、同一ユーザーで複数アプリをデプロイしようとする、同一の鍵を間違えて読んでしまい動かなくなる
- Issueがあったのでコメントした

小ネタ

- そのIssueにはy-yagiさんが参加していたので、
Railsdmで少し話してみた
- 曰く、「同一ユーザーで複数アプリをデプロイすること自体が間違っているんじゃないですかねー」
(大意)
- ですよねー

ご清聴ありがとうございました。